

スポーツビジネスに携わる企業の皆様へ

スポーツ選手が安心して飲めるサプリを作리ませんか？

# アンチドーピング ドクターサポート付き チェック



元東京大学教授 白川太郎医師 他

アスリートが、安心してサプリを飲むのが難しい現状があります。

サプリを効果的に摂取し、ハイレベルな舞台で最高の成績を狙うアスリート。メジャーな競技大会では競技や記録の公正さを保つため、厳正なドーピング・コントロールを実施することが世界的な流れになっています。その際、意図せずに禁止物質を摂取してしまい大事な大会で失格に…などということは絶対にさげなければなりません。

一方、公益財団法人日本アンチドーピング機構（JADA）の入会にあたっては非常に高額な加盟金を必要とするため、**わずか3企業の商品しか反ドーピング商品として認められていない**という状況があり、「リーズナブルで安心なサプリを飲みたい」というアスリートのニーズに日本社会は応えられていません。

その結果として実は「アスリートが安心してサプリを飲む環境がない」という現状があります。

※参考 日本野球機構(NPB)・日本ゴルフツアー機構はJADAに加盟せずに独自でドーピングチェックを行っています。  
※森永製菓(株)と(株)ドームはJADAを離脱しています。

**AD（アンチドーピング）認証サービスを始めました。**

日本先端医療医学会が薬事法ドットコムの協力を得てアンチドーピング認証サービスを始めました。アスリートが安心して飲めると判断されたサプリメントに、認証マークAD（アンチドーピング）認証を付与するサービスです。医師・スポーツファーマシスト・食品専門家・法律家の4方向からの協力体制でアスリートとサプリメント販売者を多面的にサポートします。

## AD（アンチドーピング）認証とは？

サプリメントをWADA（世界アンチドーピング機関）が指定する検査機関の検査に出しOKの結果が出たものに、日本先端医療医学会がAD（アンチドーピング）認証マークを付与するサービスです。  
※ドーピング検査の世界は完全な情報公開が進んでいないこともあり、WADAやJADAのドーピングが100%OKとは言い切れませんが、WADAが指定する検査機関でOKの結果が出たということはきわめて安心度が高いと言えます。

## AD（アンチドーピング）認証の特色

単にドーピング検査を仲介するだけでなく、認証マークを付与されたサプリメントの販売者、そしてそれを飲んだアスリートをサポートする仕組みが備わっている点がAD（アンチドーピング）認証の特色です。

私たちがアンチドーピング認証サービスをサポートします。



#### 白川太郎医師

医学の見地から白川太郎医師（元京都大学医学部教授。現在遺伝子免疫クリニック院長）がサポートします。



#### 西脇威夫弁護士

96年弁護士登録。外資系の大手法律事務所や米国法律事務所ナイキジャパンの法務部長をなどを経て西脇法律事務所を設立。



#### 伊藤俊彦薬剤師

スポーツファーマシストの見地から、伊藤俊彦薬剤師がサポートします。

## 健康食品会社の皆様へ

アンチドーピングの商品開発がリーズナブルになりました

### 高額なJADAの加盟金が負担できない中小の健康食品会社にビジネスチャンス

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）は非常に大きな影響力をもつ一方、JADA加盟企業以外からのドーピング分析依頼は断っている実情があります。

JADAでアンチドーピングの分析依頼ができるのは、JADAの高額な加盟金を支払うことのできた大塚製薬（株）、味の素（株）、（株）明治といった大手企業3社のみです。

JADAの高額な加盟金が大きなハードルとなりこれまでアンチドーピングの商品開発は中小企業には難しかったといえます。

しかし、今回日本先端医療学会のアンチドーピングサービスがリリースされたことで中小の健康商品会社が、「安価に」アンチドーピング対応商品の商品開発が可能になりました。

## AD（アンチドーピング）認証の種類・費用は？

### 製品ロットごとのドーピングチェックの場合 <L> 認証

<L> 認証とは製品のロット毎にドーピング検査機関のドーピングをクリアーしていることを示す認証です。

<L> 認証は製品ロット毎に認証料30万円（税別）が必要です。

### 年間でのドーピングチェックの場合 <Y> 認証

<Y> 認証とは1年毎にドーピング検査機関のドーピングをクリアーしていることを示しています。

<Y> 認証は1年に1度、認証料100万円（税別）が必要です。

お問い合わせは [info@yakujihou.com](mailto:info@yakujihou.com) まで